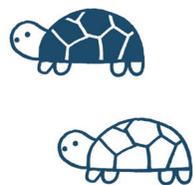


特別支援教育への配慮とユニバーサルデザイン

学び方や得手不得手は、児童によってさまざまです。全ての児童にとって学びやすい教科書を
目指した「新しい国語」。不要なつまずきを回避して、一人一人の学びを保証します。



1 特別支援教育の知見を生かし、読み書きのつまずきやすいポイントをフォロー

特殊音節と文字は視覚化と動作化でつなぐ

● 促音(っ)や拗音(しゃ)など、文字と音が一対一で対応しない特殊音節は、平仮名の習得で特につまずきやすいといわれます。そこで、**読み書きにつまずきを抱えやすい児童を支援する指導モデル(多層指導モデルMIM)**の一環として開発された指導法を基に教材化しました。

● 記号(●など)による視覚化と手を叩いたり握ったりする動作化により、**多感覚に働きかける**ことで、音節の仕組みを理解して表記につなげやすくしています。特別な支援を必要としない児童も含め、多くの児童にとって分かりやすことが実証された、**科学的根拠に基づいた指導法**です。



ちいさいやゆよ (一上P78)

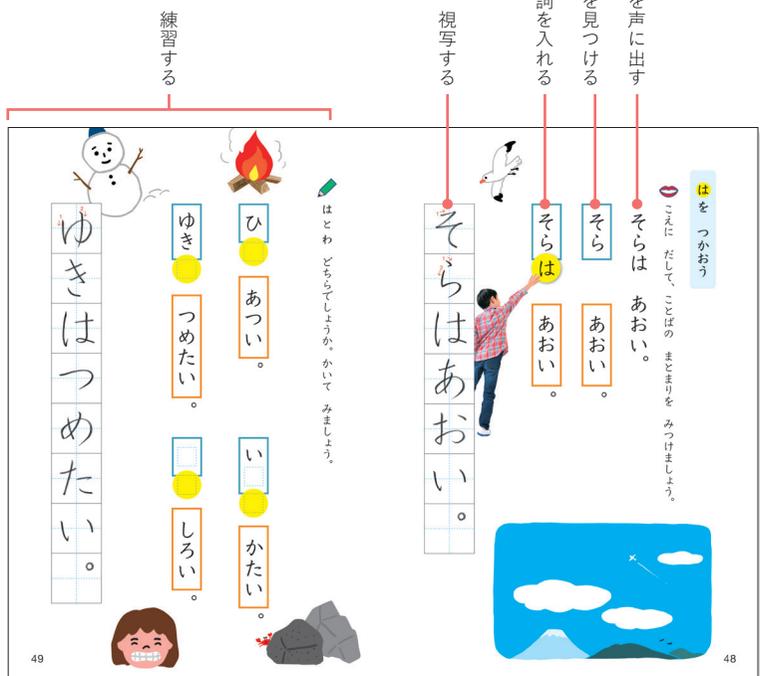
助詞「は」「へ」「を」は、意味と使い方を視覚化

● 特殊音節と並んでつまずきやすいといわれる助詞「は」「へ」「を」は、文の読み書きの基本。その**意味と使い方**を理解することに焦点化した教材を設けました。助詞を入れる過程を**スモールステップ**で示すとともに、**視覚的に表現**することでとらえやすくしています。

書く学習をサポートする仮名表記一覧表

● **一年上・下巻の付録に、平仮名と片仮名の全ての表記を一覧できる表を収録**しました。文字の習得度合いに応じて付録を活用することで、どの児童も安心して文を書く学習に取り組みることができます。

2 全ての児童にとって読みやすい教科書へ



はをつかおう (一上P48)

行をとらえやすい脚注野線

● 全ての物語・説明文教材の脚注野線には、五行ごとの行数字だけでなく、一行ごとに点(・)を示しています。

文字指導に適した書体の開発

● 読みやすいことはもちろん、書く際の手本ともなるよう、**手書き文字に近い書体を独自開発**。特に、ローマ字などに用いるアルファベットには、特別支援教育の専門家からの助言のもと、**英語教科書用に新たに開発したユニバーサルデザイン書体**を使用しています。

誰も見分けやすい配色や工夫

● 色覚問題研究グループはすてるの協力を得て、全巻全ページにわたり、色に関わる表現を一つ一つ検討しました。**全ての児童に見分けやすい配色**を工夫するとともに、必要に応じて**色以外の情報**を加え、判別しやすくしています。



サボテンの花 (六年P16)

し、ぼくはここに
たかいながら生
、ぼくは思っ
つな分らない
くの向こうへ消
炎熱の中。うず
甲。
もう死ぬ直前
はこしにつるし
てサボテンに切

